

アネモイ・マリン・テクノロジーズ
40 万トン型鉱石船 NSU TUBARAO に
風力補助推進装置ローターセイルを 2025 年 10 月に搭載完了
日本船主が保有する船舶として
最多のレトロフィットによるローターセイル搭載実績数に

Anemoi Marine Technologies Ltd（本社：英国 以下、アネモイ社）は、NS ユナイテッド海運株式会社（本社：東京、以下、NSU）にローターセイルを納入し、Vale International SA ※（本社：スイス、以下、ヴァーレ社）との長期鉱石輸送契約に従事する 40 万トン型鉱石船「NSU TUBARAO」（以下、当該船）への設置を 2025 年 10 月 16 日に完了しました。

なお、本プロジェクトで設置された 5 基のローターセイルは、日本船主が所有する船舶として過去最多のレトロフィットによる搭載数となります。また、この設置完了により、アネモイ社のローターセイルを搭載した船舶の累計総トン数は 160 万重量トンを超えました。



一般的にローターセイルとは、船舶の甲板上に設置された大型の円筒状の帆を高速で回転させることで推進力を生み出すものです。この回転によって気流と圧力差が発生し、推進力を生み出して船を前進させます。風の力を直接受ける従来型の帆とは異なり、ローターセイルは回転運動によって効率的に前進力を生み出す点が特徴で、近年は環境負荷の低減や燃費改善の観点からも注目されています。

今回、アネモイ社製のローターセイルを搭載した当該船は、燃料消費量および CO2 排出量を約 6～12% 削減できると見込まれています。

当社のローターセイル 5 基を搭載した当該船は、Valemax/VLOC と呼ばれる超大型鉱石運搬船のカテゴリーに属する世界最大級の船舶であり、現在海運業界における環境負荷低減への貢献として注目されています。

「このプロジェクトの規模は、低排出型の海運を実現するうえで風力が重要な推進手段であるという市場の信頼が高まっていることを示しています。NSU、ヴァーレ社、そして日本海事協会（ClassNK）のような先進的なパートナーと協力することで、私たちはローターセイル技術をさらに発展させ、推進力の統合や航行の最適化によって風力支援を活用すれば、より大きな効果を得られることを実証することができます。」とアネモイ社の CEO クレア・アームストンは述べています。

「NSU では、世界で最も効率的な船舶を通じて、ステークホルダーおよび用船者の皆さまを支援することを目指しています。NSU TUBARAO に搭載されたローターセイルと、その燃費削減効果を最大化するための高度なシステムは、まさにその取り組みを体現するものです。アネモイ社と NSU チームの強力な協力により、予定されたドック期間内にこの設置を成功裏に完了できたことを嬉しく思います。」と NSU の常務執行役員 藤田 透は述べています。

当該船は 2025 年 10 月 26 日に海上試運転を開始し、同月 29 日に試運転を完了、その後ドックを出港しました。

■アネモイ・ローターセイル概要

名称 : Anemoi Rotor Sails (アネモイ・ローターセイル)
寸法 : 直径 5m x 高さ 35m
展開方式 : 折りたたみ式 (Folding)
搭載数 : 5 基
設置造船所 : Zhoushan Xinya Shipyard Co., Ltd.
船級協会 : 日本海事協会 (ClassNK)

■アネモイ・ローターセイル搭載船概要

船名 : NSU TUBARAO
竣工日 : 2020 年 9 月
主要寸法 : 全長 361.0m x 幅 65.0 m x 深さ 30.2 m x 喫水 23.0 m
載貨重量 : 399,717 トン
総トン数 : 198,681

■Anemoi Marine Technologies Ltd について

アネモイ・マリン・テクノロジーズは、英国に拠点を置き、海運業界向けに「ローターセイル」と呼ばれる風力支援推進システムの開発・製造を専門とする企業です。2007 年に設立され、2015 年に法人化して以来、この分野における先駆的な存在として成長してきました。同社は、世界にわずか 4 社しか存在しないローターセイルの提供企業の一つであり、規模としては世界第 2 位を誇ります。2025 年 11 月時点で、合計 25 基のローターセイルを 6 隻の船舶に導入しており、その中には世界最大級の船種である超大型鉱石運搬船 (VLCC: Very Large Ore Carrier) も含まれています。

※ヴァーレ社は、技術導入の推進および船隊の近代化を通じて温室効果ガス (GHG) 排出削減に取り組むことに重点を置いており、国際海事機関 (IMO) の脱炭素化目標の達成を海運業界とともに支援することを約束しています。

また、パリ協定の目標に沿って、サプライチェーン全体 (自社所有ではない船舶からの排出を含む) に関連するスコープ 3 排出量を 2035 年までに 15%削減するという目標も掲げています。

<報道に関するお問い合わせ先>

アネモイ・マリン・テクノロジーズ広報事務局 (共同ピーアール株式会社内) 担当 : 大塚、横山

TEL : 03-6260-4856 E-mail : anemoimarine-pr@kyodo-pr.co.jp